



「東京2025デフリンピックが残したレガシー」

デフ（きこえない・きこえにくい）アスリートのための国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」が11月15日（土）～26日（水）の12日間にわたって開催されました。オリンピック・パラリンピックと同様に4年に一度開催され、日本では初開催であり、第1回大会から100周年を迎える記念の大会でした。私も駒沢オリンピック公園総合運動場を会場とした男子ハンドボールと陸上を観戦・応援する機会を得ることができました。

「最新技術」の活用と普及

競技会場に着くと、音声をリアルタイムに認識して多言語で表示する大きな透明ディスプレイが用意され、様々な国々の方が円滑にコミュニケーションを取れるようになっていました。大会に合わせ、二次元コードをスマートフォンで読み取ると、駅のアナウンスを文字表示できる仕組みが導入された路線もあったそうです。また、音声をリアルタイムで多言語表示する技術だけでなく、手話をリアルタイムで文字表示するシステムも利用されたといいます。このシステムは、手話をAIが認識し、多言語の文字に変換するもので、手話は「日本の手話」に加えて、「国際手話」「アメリカ手話」にも対応していたそうです。手話認識の精度を向上させるためには、手話の動きや癖などの多くのデータが必要であり、国内外から手話を使う人が訪れる今回の大会は、そのデータを集めることのできる貴重な機会にもなったそうです。



男子ハンドボール「国歌斉唱」

手話による「国歌斉唱」

試合の前に行われる国歌斉唱では、日本の選手が手話を「君が代」を披露する姿を初めて見ることができました。また、同じように対戦する選手も自国の国歌を手話で行い、国歌の違いは手話表現にも表れ、興味深いものでした。これまで日本には正式な国歌の手話表現がなく、今大会で使われているのは2021年に全日本ろうあ連盟が発表した「国歌の手話言語試行版」だそうです。従来は手話通訳によって異なる表現が用いられるなどして混乱が生じていたため、手話言語を知らない人でも分かりやすい統一的な表現になるように工夫されたそうです。会場に国歌が流れると、選手が手話で歌詞を表現し、斉唱も手話表現もそのどちらの雰囲気も厳かであり誇りが感じられるものでした。

音のない世界に届く新しい応援「サインエール」

スポーツ観戦に欠かせない拍手や声援ですが、応援は声や音に頼るものが多く、デフアスリートからは「声援は嬉しいがあまり伝わらない」「応援を感じ取れたらもっと力になる」という声があったそうです。今大会の開催に向けて、きこえる・きこえないにかかわらず、すべての人がデフアスリートを応援する想いを届けることができるよう考案されたのが「サインエール」です。手話とジェスチャーを組み合わせて、「行け！」「大丈夫、勝つ！」「メダルをつかみ取れ！」と、デフアスリートにその応援を届けるとともに、会場が一体となって盛り上がるものでした。



「サインエール」公式ポスター

「東京2025デフリンピック」の開催を通して、これまでとは異なる変化が生まれているといいます。デフアスリートの皆さんのが頑張りや活躍は、自身のためだけのものではなく、誰もが暮らしやすい日常の実現の向かた社会へのメッセージでもあります。大会は閉幕しましたが、誰もが何の障壁もなくコミュニケーションを取れるような社会の実現に向けた新たな「スタート」となっていくことが確かに実感できる大会でした。

「D組交流授業（日大藝術学部・コスモス学級・あさひ学級）」

D組では、11月11日（火）18日（火）25日（火）に日本大学藝術学部、27日（木）に豊玉第二小コスモス学級、28日（金）に旭丘小あさひ学級との交流授業が行われました。

日本大学藝術学部との交流授業では、今年度も美術学科およびデザイン学科の学生の皆さんのご協力をいただき、「絵を通して自分だけの物語を伝えよう」をテーマに「オリジナル絵巻物」を制作しました。たくさん



学生の皆さんから丁寧で専門的なご指導をいただき、それぞれに工夫を凝らした作品を創り上げることができました。

また、コスモス学級・あさひ学級の児童の皆さんとの交流授業では、前半に自己紹介や旭丘中D組の学校生活の紹介、小学生から中学生への質問を行い、互いに理解を深めることができました。後半には小中学生混合でつくったチームでボッチャを行って、楽しい時間を過ごすとともに、親睦を深めることができました。



「旭中生の活躍」

令和7年度全国間税会総連合会「税の標語」

東京国税局間税会連合会 入選（3年男子1名）

作品「税を学べば 社会の姿が 見えてくる」

練馬東間税会 入選（3年男子1名）

作品「消費税 あなたの一歩が 社会を動かす」



令和7年度読書感想文コンクール

優秀賞（2年女子1名）

佳作（3年女子1名 2年男女各1名 1年男女各1名）

「税の標語」表彰式(生涯学習センター)

バドミントン部

第62回練馬区中学校生徒総合体育大会

女子団体 第5位



演劇部

第76回練馬区立中学校連合演劇発表会 出場

囲碁将棋部

東京都中学校囲碁大会

入門クラス 優勝（1年男子1名）

入門クラス 準優勝（1年男子1名）

前々号でお知らせしましたソフトテニス部の都大会出場を祝して、本校PTAより横断幕を贈呈していただきました。大変ありがとうございました。

「12月・冬休みの主な行事予定」

12月

- 1日（月）全校朝礼 安全指導
- 1日（月）～5日（金）
三者面談 午前授業 ※給食あり
- 8日（月）英単語コンテスト
- 12日（金）ダンス発表会（1・2年A B組）
専門・中央委員会
- 14日（日）E S A T - J 予備日（3年）
- 17日（水）職員会議
- 18日（木）大掃除
- 19日（金）新校舎生徒見学 2学期終業式
- 20日（土）みらい青空学園新校舎内覧会
- 22日（月）冬季休業日始 引越し作業始
- 29日（月）学校閉庁日始

1月

- 1日（木）元日
- 3日（土）学校閉庁日終
- 8日（木）3学期始業式 安全指導
午前授業 ※給食あり

※ 新校舎への備品等の物品搬入作業が、12月8日（月）～19日（金）に予定され、新校舎北棟と南棟をつなぐ渡り廊下の下の道路で車両通行止めになることがあります。歩行者・自転車（押し歩き）での通行は可能です。

※ 学校閉庁日の期間は教職員の勤務はありません。電話は留守番電話対応になります。12月29日（月）～1月3日（土）は施設管理員の勤務もありません。